

BOOK REVIEW
人生のヒント
Vol.12

当協会職員が、
人生やライフプラン
を考える上でヒント
となる本をご紹介します。



「終わった人」

内館 牧子 著

[講談社、2015年9月、1,728円]

2018年6月に映画が全国公開され、ご覧になった方もいるだろう。50代後半あるいは定年退職直後の60代の方々が、自身の今後の人生をどう考え、どのように過ごしたいかをこの物語を読むことで、設計してみることが望ましいと思ひ、取り上げた。主人公と同様な思考を求めるものではない。あくまで同書をきっかけに自分の今後の人生を考えるとことだ。従って、「自分ならあり得ない」とか、「そうそう分かる分かるその気持ち」という風に、同感や批判を交えながら読むと面白さが増すであろう。

「定年って生前葬だな」。この一文から同書は始まる。

大手銀行の出世コースからはずれ、子会社に出向させられ、そのまま定年を迎えた主人公・田代社介。仕事一筋に生きてきた主人公にとって、その職場、その仕事から離れたことによる衝撃は大きい。仕事以外のライフプランを考えずに来たツケが、定年退職により一気に噴き出したわけである。今までの輝ける肩書を無くした男にとって、故郷や同窓会は敷居の高いものとなる。その中で、再びビジネスの社会に舞い戻るが、主人公の行く末は如何に…。

(執筆：協会職員 竹内 敦)

当誌は、4月号、7月号、10月号、1月号の年4回を一つの区切りとして発行している。一人の執筆者に4連載願ったり、毎回別々の執筆者にお願いしたり、と様々だ。実は執筆者探しの前にやる必要がある。各コーナーのテーマおよび記事本数の決定である。例えば、家庭経済設計は、記事3本/号、そのうち1本は年金、1本は家計の改善、1本はキャッシュフロー表を取り扱うなどを決めたいので、その内容にふさわしい執筆者を当たっていくという流れだ。そろそろ取り組み始めているのであるが、このような決定にも読者の意見を反映させている。また我々が気づかない切り口を提案いただけることもある。

表紙の裏の通信員（読者モニター）制度の案内を見て、是非ご応募を。

(タ)

東京オリンピック・パラリンピックの開催まで600日を切った。競技会場の建設などは着々と進められているが、私たち自身はさまざまな文化をもつ人々を受け入れる心構えができていだろうか。例えば電車内や街中のマナー。海外では電車から降りる時や街中で人にぶつかった時には「すみません」とひと声掛けるのがマナーである。無言のままグイグイと人ごみをかき分けたりはしない。「言わなくてもわかるだろう？」という理屈は海外からのお客さまには通用しないのだ。言葉の壁はあっても言葉で伝えようとする努力は必要だと思ふ。

(R)

ご意見をお待ちしております

ご意見、ご質問、ご感想などをお寄せください。皆様の声を、積極的に活かしていきたいと考えております。

E-mail : alps2@lifeplan.or.jp

協会への交通案内

- 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線/青山一丁目駅 4 番出口より徒歩 3 分
- 東京メトロ千代田線/乃木坂駅 3 番出口より徒歩 7 分

ALPS Vol.136

平成 31 年 1 月発行

発行 ● 一般財団法人地域社会ライフプラン協会

〒 107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 5 番 26 号

住友不動産青山ビル西館 6 階

TEL.03-3470-8711 FAX.03-3470-8759

ホームページ <http://www.lifeplan.or.jp>

E-mail alps@lifeplan.or.jp

編集協力・印刷 ● 株式会社丸井工文社



本書からの無断複写・転載を禁じます。
本誌は再生紙を使用しています。